

●社会資本の適切な維持管理(アセットマネジメント)の推進 [幹事県 大分県]

[目的]

地方公共団体が管理する大量の社会資本は、今後、高度経済成長期に建設されたものをはじめ、その多くが更新時期を迎える。

そのため、九州・山口各県で蓄積された社会資本の適切な維持管理手法(アセットマネジメント)に関する調査・研究や情報交換を行い、九州全体の社会資本の適切な維持管理を推進する。

[取組内容]

社会資本の適切な維持管理手法(アセットマネジメント)に関する調査・研究や情報交換を実施

[主な取組状況(知事会議での報告状況等)]

- 平成24年6月 第139回九州地方知事会議
 - ・大分県が「あり方研」へ提案、政策連合による取組開始を決定
- 平成24年10月 担当国会議(第1回)
 - ・各県が所管する社会資本の維持管理について現状報告、今後の取組方針について協議
- 平成25年4月 担当国会議(第2回)
 - ・社会資本の点検・診断の取組状況や長寿命化計画の策定状況等について意見交換し情報を共有、長寿命化計画の先進事例を発表し情報を共有(長崎県:トンネル、熊本県:舗装)
- 平成25年8月 担当国会議(第3回)
 - ・社会資本の適切な維持管理を推進する上での予算・制度面の課題や今後のあり方について議論、各県の技術面の取組の参考とするため、新技術の導入事例の情報を共有(道路照明のLED化、メンテナンスエキスパートの育成等)
- 平成25年11月 社会資本の老朽化対策について国土交通省に対し提言
 - ・河川や港湾施設の維持管理・更新に係る補助制度の対象を小規模な施設にまで拡大すること、修繕事業の一環として実施する点検の自治体負担分を起債対象とするなど財政支援の拡充を図ることを提言
- 平成26年4月 担当国会議(第4回)
 - ・河川や港湾施設の小規模な施設の補助制度拡充を引き続き国へ要請することを確認、点検・診断や長寿命化計画を策定する上での技術的課題等について意見交換
- 平成27年5月 担当国会議(第5回)
 - ・これまでの取組の成果や今後の課題、取組方針等について意見交換
- 平成27年6月 第145回九州地方知事会議
 - ・取組状況を報告(国への提言により予算・制度面で得られた成果、共有した技術情報の長寿命化計画等への反映等による成果を報告、政策連合の取組としては一定の成果を得たので、今後は担当者レベルでの情報共有を継続)

※以上の取組により、所期の目的を達成

- 九州・山口ブロック アセットマネジメント担当国会議
 - ・所管する施設全般に係るアセットマネジメントの取組状況について情報共有、意見交換
平成28年1月(第1回)、平成28年4月(第2回)、平成29年4月(第3回)、平成30年5月(第4回)
令和元年5月(第5回) 令和2年10月(第6回)、令和4年2月(第7回)、令和4年11月(第8回)
令和6年10月(第9回)

[成果]

- (1) 点検に係る自治体負担経費の一部が起債対象に追加
道路施設(橋梁、トンネル、道路附属物等)の修繕、更新、撤去等の道路の老朽化対策について、個別補助制度が創設
国への提言により「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」の柱の一つとして、予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策が新たに位置づけられ、早期に対策が必要な施設の修繕を集中的に実施
- (2) 長寿命化計画の先進事例や新技術の導入等、技術情報に係る意見交換を行い、各県が進める長寿命化計画の策定等に反映される等、アセットマネジメントの取組が進展

[課題]

適切に維持管理・更新を実施していくための予算を継続的に確保するとともに、技術開発や技術者の育成を推進するよう、引き続き国に対し提言することが必要

[今後の取組]

社会資本の老朽化対策を継続的に推進するため、今後の法改正や技術開発の動向を注視しながら、情報の共有と活用を図るため、「九州・山口ブロックアセットマネジメント担当者会議」を年1回以上開催